

經濟論叢

第 157 卷 第 2 号

哀 辭

故 飯野春樹元教授遺影および略歴

| | |
|---------------------------------|----|
| 固有価値と人間ネットワークの形成……………池 上 惇 | 1 |
| 組織環境の特性とその意味付けの連鎖……………崔 俊 | 24 |
| アダム・スミス芸術論と18世紀民衆娯楽……………後 藤 和 子 | 48 |
| 費用効果分析による医療資源配分について……………土 屋 有 紀 | 64 |

追 憶 文

| | |
|---------------------------|----|
| 飯野春樹先生が残されたもの……………庭 本 佳 和 | 80 |
| 飯野春樹先生を悼む……………田 尾 雅 夫 | 85 |

平成 8 年 2 月

京 都 大 学 經 濟 學 會

哀 辞

飯野春樹先生は 1995年7月18日に逝去されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 1953年に京都大学経済学部を卒業され 同大学院経済学研究博士課程を修了されて後 関西大学商学部に迎えられました その後 1985年に本学経済学部経営学科経営政策大講座担当の教授に就任されて 1994年に退官されるまで 本学において 多くの学生 多くの大学院生の指導に尽力されました

また 先生は 学外におかれても 組織学会や日本経営学会などで活躍され 学問的に貴重な貢献を重ねてされました とくに組織と管理の理論的な体系化において チャスター・I・バーナードの学説を紹介されました それを通じての一般理論の構築については いわゆる飯野バーナード学として周知されているように 多くの研究者に理論的な拠り所を提供することになりました 今日わが国において バーナード理論が経営学や組織論における必須の学識となったのは偏に 先生の精魂を傾けた努力の賜物であることは いうまでもないことであります

さらに 先生は バーナード理論に基づき あるいは それを超えることによって 組織の一般理論の体系化を試みられ 学界に大きな刺激を与えてされました

先生の遺されたすぐれたご業績と ご指導を偲びながら 当学会に賜りましたひとかならぬお力添えに謝意を表するとともに 私たちの深い哀悼のしるしとして この哀悼号を捧げたいと思います

1996年1月

京都大学経済学会